

ナイチンゲール生誕祭

1990年厚生省(当時)により、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、**5月12日**を「看護の日」として制定しています。この「看護の日」は、21世紀の高齢社会を支えていくために、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要であり、こうした心を「老若男女」問わず誰もが育むきっかけとなるようにという願いが込められています。

当校では、日ごろから学生の学びに協力していただいている患者さんと呉医療センターの職員の皆様への感謝の気持ちを伝え、看護専門職を目指す人としての責任と自覚を育成するために、5月24日(金)にナイチンゲール生誕祭を開催しました。



自治会長挨拶



点灯式



学内での練習



担当学生から「看護の日」についての説明



ナイチンゲール誓詞 唱和



音楽クラブによるハンドベル演奏

来場してくださった方と一緒に、全校生徒の合唱と振り付けに合わせて体操しました。



笑顔で手を掲げて ワン・ツー ワン・ツー ♪♪



折り紙で作ったナースキャップにメッセージを書き、感謝の気持ちを込めて、ご来場いただいた患者さん一人一人に手渡ししました。笑顔で喜んでくださいました。

ナイチンゲール生誕祭を終えて（学生の感想）

看護師になるために、「看護学生として勉強しているんだ」と自覚することができた。

見に来てくれた方が笑顔で拍手をしてくれてとても嬉しかった。練習を頑張ったよかった。

改めて自分のなりたい看護師像を考える機会になった。

ナースキャップを渡した時に笑顔になった患者さんたちを見て、うれしい気持ちになった。

教員からのコメント

ナイチンゲール生誕祭を通して看護について考える機会になったことを、教員としてとても嬉しく思います。今回、患者さんを笑顔にすることができたことを忘れずに、看護学生として学習に励んでいきましょう。